



平成 29 年 10 月 25 日

各 位

上場会社名 井村屋グループ株式会社
代表者 代表取締役社長 大西 安樹
(コード番号 2209 東証第二部)
問合せ先 代表取締役副社長部門統括 中島 伸子
(TEL 059-234-2146)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 11 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,800	百万円 750	百万円 720	百万円 510	円 銭 42.73
今回修正予想 (B)	21,684	947	1,007	856	71.76
増減額 (B-A)	884	197	287	346	
増減率 (%)	4.3	26.3	39.9	67.8	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	19,990	739	690	443	36.72

修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は上期の主力である冷菓カテゴリーにおいて天候不順の影響にも関わらず「あずきバー」シリーズが伸張し、米国アイス事業の IMURAYA USA, INC. の売上も増加しました。点心・デリカカテゴリーでは新工場が 7 月より稼働を開始し「肉まん・あんまん類」が順調な立ち上がりとなりました。また、井村屋フーズ株式会社の B to B 事業の受注も堅調に推移し、売上高が計画を上回る見込みとなりました。利益面では、設備投資の効果や生産性向上活動によりコスト低減が図られ利益率が計画以上に向上いたしました。これらの結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全てにおいて、過去最高を更新し、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、平成 30 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては下期の主力商品となる「肉まん・あんまん」類が順調に立ち上がっていますが、依然として先行き不透明な消費動向を慎重に考慮し、前回発表予想から変更はありません。今後の業績推移に応じて、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により該当予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上